

梅海新道「梅池から親不知」

平成 22 年 5 月 1 日（土）～5 月 4 日（火）

L：いぶ、やまたくお、萩田、伊藤、和利

5 月 1 日（土）晴

標高 1800m の梅池自然園まで、ゴンドラ、ロープウェイと乗り継いで一気に登る。ザックを背負った山スキーヤーが大半を占め、我々のような大きなザックを背負った人は見あたらない。白馬乗鞍岳を越え、白馬大池から今山行の最高峰、2768.9m の小蓮華山を目指す。



天に昇るような広大な急斜面（5/1 13:50）



三国境のテント場より白馬岳を仰ぐ、強風で眠られず（5/2 6:11）

5 / 1 8:14 梅池ゴンドラ駅 - 9:16 梅池自然園ロープウェイ駅 - 登山開始
11:20 白馬乗鞍岳 2456m - 小蓮華山 2768.9m - 15:30 三国境 テント泊

5月2日(日)晴

風も治まり広大な斜面を雪倉岳に向けて出発。左上部に大きな雪庇が見え、谷を進むのはいささか怖い。350m下って鉢ヶ岳の右を巻いて雪倉岳避難小屋に着いた。単独登山者と山スキーの3人パーティが出発していった。小屋にはまだ数名残っているようで外にピッケルが転がっていた。今日も快晴、サングラス無しでは目を開けてられない。

雪倉岳を越え、長くていやらしい雪倉のガレをトラバースしてツバメ平で一本取る。



萩田、あと一步(5/2 13:34)

赤男山を大きく左に巻いて雪のないザレたトラバースを進み、朝日岳に取り付く。広大な急斜面が延々と続く。昨日の午後から萩田の調子が今ひとつよくない。



朝日岳山頂(5/2 15:03)

山頂からひとしきり下って、八兵衛平の雪原にて幕営。昨日とはうって変わって静かな夜であった。

5 / 2 6:20 出発 - 8:38 雪倉岳避難小屋 - 9:30 雪倉岳 2610.9m - 11:22 ツバメ平
- 15:05 朝日岳 2418.3m - 15:40 八兵衛平 テント泊

5月3日(月)晴

今日は今山行の最大の山場を迎える。地図上で約13km、小さなアップダウンが連続するロングルートである。長梅山に向けて出発、まるで砂漠の中を歩いているような錯覚に陥る。長梅山から左前方に黒部～魚津の市街地と日本海が見えた。まだまだ先は長い。



砂漠のような雪原(5/3 6:06)

黒岩山(1623.6m)、サワガニ山(1612.3m)、犬ヶ岳(1593.6m)と小さなピークが続く。夏道と雪道が入り交じり歩き難く、尾根上の雪庇もクレパスだらけで怖い。



犬ヶ岳を越え梅海山荘で一本(5/3 11:54)

梅海山荘から200m一気に高度を下げる。雪と木と岩のとんでもない下りで、6時間以上歩いた身体には応える。萩田は相当にバテていて、休憩の度にザックの上で寝ている。

黄蓮山(1291m)、菊石山(1209.8m)、下駒ヶ岳(1241m)と小さな厳しいピークを辿り、本日の宿、白鳥山荘に到着した。白鳥山荘には9人の先客が到着してそれぞれくつろいでいた。我々も一階になんとかもぐり込んだ。

5 / 3 6:00 出発 - 長梅山 2267m - 7:50 黒岩山 1623.6m - 9:15 サワガニ山 1612.3m
- 犬ヶ岳 - 15:05 下駒ヶ岳 - 17:30 白鳥山 白鳥小屋 泊(計14名泊)

5月4日(火)晴

最終日、5時半出発。雪原は黄砂で真っ茶色、小さな尾根が四方に走り、地図で方向を確かめながら進む。坂田峠が近づくにつれカタクリやイワウチワの花が咲き乱れ、我々を歓迎してくれる。



白鳥山荘(5/4 5:23)



親不知海岸(5/4 12:04)

坂田峠からは完全に夏道、アイゼンを片付け服を夏仕様にして出発。とにかく暑い。顔から汗が噴き出し、目に入って痛い。高度を下げ、国道を通過する車の音が近づいてきた。最後は皆で列んでゴール、親不知海岸まで降りて終了した。

5 / 4 5:30 出発 - 尻高山 677.4m - 入道山 - 11:35 親不知(国道8号線)・・・日本海